



〔巻頭特集〕

西区で育んだバスケットボールにかける情熱

豊通ファイティングイーグルス名古屋

ヘッドコーチ

# 渡邊竜二

小学4年生で出会ったバスケットボールに  
とことんのめり込んだ渡邊竜二氏。

中学、高校、大学と学生生活を競技に捧げ、卒業後は豊田通商株式会社の  
豊通ファイティングイーグルス名古屋でキャプテンを務めた。

現役を引退した31歳の時、ヘッドコーチに就任。

—昨年にはチームが枇杷島スポーツセンターをホームアリーナとすると、  
地元の期待に応えるべく、現在リーグの頂点を目指す。

## 西区で開いたバスケの才能 現在の基礎を築く少年時代

地元のプロスポーツチームを率いる  
西区出身の人物がいる。豊通ファイ  
ティングイーグルス名古屋の渡邊  
竜二ヘッドコーチ（以下H.C.）だ。10  
歳からバスケットボールに打ち込み、  
チームを勝利に導こうと、現在も競  
技に人生を捧げている。

渡邊H.C.は浄心で生まれ、名古屋  
市立城西小学校に入学。4年生でバ  
スケットボール部に入ったことが、す  
べての始まりだった。幼い頃からス  
ポーツが好きで、水泳やバレーボール、  
相撲、陸上の部活動にも参加。なかで  
もボールを使う競技は得意だったとい  
う。名古屋市立浄心中学校へ進むと

すぐバスケットボール部に入った。  
「あの頃は純粹にバスケが楽しかった。  
練習メニューを自分で組んだりして、  
仲間と没頭していました」と振り返る。

中学校卒業後、愛知工業大学名電  
高等学校に入学すると、2年生でス  
ターティングメンバーに選出。3年  
生になると、キャプテンを任された。  
学校初となる全国高等学校総合体育  
大会バスケットボール競技大会での  
準優勝や、全国高等学校バスケット  
ボール選抜優勝大会の優勝など、輝  
かしい成績を収める。

高校時代、当時のコーチから司令  
塔であるPGのポジションを任せられ、  
対戦相手との間合いやディフェンス  
などプレーの土台を築いたと話す。  
「バスケットボールへの熱意といま



すか、競技に対する情熱なども高校  
時代で学びました。それは今でも変  
わらず、私の基本となっています」と  
熱を込める。

## 苦境でも決して折れない心 競技への一途な思い

高校卒業後は地元を離れ、日本大  
学へ進学。バスケットボール部の1軍  
として活躍し、ますます競技への情  
熱は増していった。4年生になるとバ  
スケットボール日本リーグへの憧れを  
抱き、実業団入団を志望。地元企業  
である豊田通商株式会社に入社し、  
バスケットボール部・豊通ファイティ  
ングイーグルス名古屋の一員となっ  
た。「当時はバスケのプロリーグがな  
く、卒業後も競技できる環境を探し  
ていました。地元へ戻りたいとも思っ  
ていたのですが、就職はすぐに決断しま  
した」と話す。活躍の場をバスケット  
ボール日本リーグに移し、部のキャプ  
テンとしてチームを率いることとなっ  
た。

しかし、入社から約5年が経った  
頃、部の成績は低迷する。当時は1  
シーズンに10試合程度しかなかった  
ものの、1勝もできない時期があっ  
た。1990年代に起こったバブル崩  
壊により、経済状況が混乱。練習で  
きる環境ではなくなり、次第にコー  
チや選手も練習に来なくなりました。  
「皆、仕事を抱えながらだったので、  
練習には3人程度しか来られませ  
んでした。会社から部を続けるのかと  
問われた時もあります」と話す。

他の実業団が廃部へと追い込まれ  
るなか、豊田通商株式会社も部に新

たな選手を採用する余裕はない。苦  
しい状況は続いたが、渡邊H.C.はやめ  
なかつた。「バスケをやめようとは全  
く思いませんでした。もともと負け  
ず嫌いですし、何より競技で周囲や  
地域に恩返しをしたいという強い思  
いがありました」。

部継続への思いは実り、翌年にチ  
ームは念願の1勝をつかみとる。「やっ  
との思いで手に入れた1勝。まるで優  
勝したかのように、あの時ほどうれ  
しい勝利はありません」と目を細める。

## チームの勝利を地元へと 地域とリーグ優勝を目指して

現役時代、渡邊H.C.は怪我に悩ま  
された。足の靭帯、膝の靭帯、半月  
板などを何度も負傷。入社9年目に  
は練習すら困難になり、プレーした  
翌日は膝が腫れて歩行が難しいほど  
であった。「それでも、現役でいた  
かった。バスケがしたかった。しかし  
体はもう満身創痍で、引退の心構え  
はできていました」と振り返る。

31歳の時、現役引退を決意。次な  
る舞台として、豊通ファイティング  
イーグルス名古屋のヘッドコーチに  
就任した。熱心な指導もあり、20  
08年にチームはリーグ優勝に輝  
く。その後も2度の優勝を達成する  
など、強豪へと育っていった。

2016年、プロバスケットボール  
リーグのB・LEAGUEが誕生。1  
部から3部まで分かれ、全国の45  
チームが順位を競う。豊通ファイ  
ティングイーグルス名古屋は2部に  
所属し、昨シーズンは中地区2位。  
現在「2部優勝、1部昇格」を目標

としている。「昨シーズンはリーグ終  
了間際に逆転され、中地区2位に終  
わった悔しい年でした。今シーズン  
こそ優勝を狙います」と決意を口に  
する。

渡邊H.C.が就任したばかりの頃、  
チームにはマネージャーがいなかつ  
た。トレーナーやアシスタントコー  
チの存在もなかつたと話す。「現在は  
組織として、とても充実し、たくさ  
んの人が支えて応援してくださる。  
それは本当にありがたいと心から思  
います」とほほ笑む。

チームを1部昇格へ導くため、一戦  
一戦を大切にしたいと決意を口にす  
る渡邊H.C. 枇杷島スポーツセンターで  
開催されるホーム戦では、地元の期  
待を胸に抱え、ふるさとに勝利を報  
告するべく闘志を燃やす姿がある。



枇杷島スポーツセンターでのホーム戦は、いつも活気にあふれる。アリーナ席では試合後に選手とハイタッチもできる

## 豊通ファイティングイーグルス名古屋 ホーム戦情報

会場: 枇杷島スポーツセンター(西区枇杷島1-1-2)

3. 3 [SAT] 13:00~ vs 金沢武士団  
KANAZAWA SAMURAI

3. 10 [SAT] 15:00~ vs サイバーダイナミック茨城ロボッツ  
CYBERDYNE IBARAKI ROBOTS

3. 24 [SAT] 15:00~ vs 仙台89ERS  
SENDAI EIGHTY NINERS

問い合わせ 豊通ファイティングイーグルス名古屋 事務局 TEL 052-584-3300

Profile

## 渡邊竜二

〔わたなべりゅうじ〕

1971年4月生まれ、西区出身。  
名古屋市立城西小学校、愛知  
工業大学名電高等学校、日本  
大学卒業。学生時代はバスケット  
ボール部で活躍し、卒業後は  
豊田通商株式会社の実業団へ  
入団。現役引退後に豊通ファイ  
ティングイーグルス名古屋のヘ  
ッドコーチへ就任する